学校番号	1206

令和８年度　学チャレンジタイム科

教科	学チャレンジタイム	科目	（学）福祉基礎講座	単位数	１単位	年次	２・３年次
使用教科書							
副教材等	自校作成教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

福祉・介護についての実習と講義を 36 時間設定する。
実習をおこなうことにより、講義だけでは学ぶことのできない知識や技能、他者とのコミュニケーションを取りながら活動することで福祉・介護の理解を深めてほしい。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
福祉及び介護について体系的・系統的に理解するとともに、関連する基礎的な技術を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
福祉及び看護に関する基礎的な課題を発見し、職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
福祉及び看護について、よりよい実践をめざして自ら学び、課題解決に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	福祉・介護に関する知識が身についている。	実習などの体験授業を現場のルール等を理解し活動を取り組めている。 学んだことを発表等の場で表現できている。	実習や事前学習に主体的に参加できている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2年次・3年次	福祉	・福祉とは何かその全体像をとらえる ・専門職について理解を深める ・ホームレスの理解	a:福祉に関する知識が身についている。 b:活動の先の指導を理解し、他者とのコミュニケーションを取りながら活動できる。 学んだ内容について説明することができる。 c:講義や体験実習へ主体的に取り組んでいる。	学習プリント	活動日誌	活動の参加態度
2年次・3年次	介護	・介護とは何か ・介護技術の演習 ・介護食などの学習	a:看護に関する知識が身についている。 b:活動の先の指導を理解し、他者とのコミュニケーションを取りながら活動できる。 学んだ内容について説明することができる。 c:講義や体験実習へ主体的に取り組んでいる。	学習プリント	活動日誌	活動の参態度
2年次・3年次	障がい福祉	・障がい者福祉とは ・障がい者体験 ・点字 ・ハンセン病の理解	a:障がい者福祉に関する知識が身についている。 b:活動の先の指導を理解し、他者とのコミュニケーションを取りながら活動できる。 学んだ内容について説明することができる。 c:講義や体験実習へ主体的に取り組んでいる。	学習プリント	活動日誌	活動の参加態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度